

SSK

視覚 障害

昭和五十六年二月一五日SSK通刊第七九二号（毎月六回、5の日、0の日発行）
昭和四十六年六月一七日 第三種郵便物認可



その研究と情報

1981年3月 No.52

ISSN 0385-7476

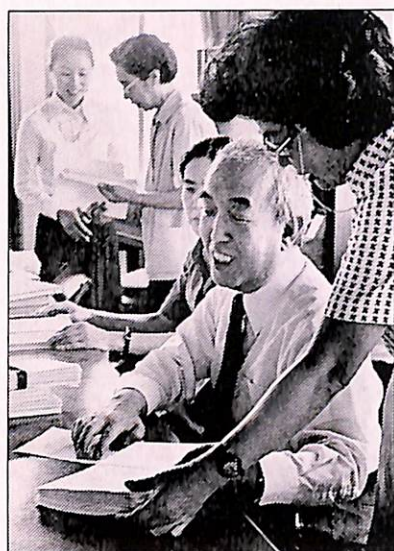
本間一夫著

〔岩波新書〕定価三八〇円

指と耳で読む

日本点字図書館と私

五歳の冬の日、病いのために突然失明した著者は、点訳された図書によって読書の歓びを知った。だが点字の本はあまりにも少ない。そこから点字図書館の構想が生まれ、昭和十五年、東京の自宅に開設された。以来四十年、指と耳を通しての読書は盲人の知的渴望を満たしつつある。本書はその苦闘のあとを語り、人びとの理解と協力を訴える。



点訳奉仕者と語り合う著者(昭和52年)

岩波新書から

リハビリテーション

砂原茂一著

リハビリテーションを、単に身体機能の回復訓練としてだけではなく、広く障害者の人権を保障する思想と技術の体系としてとらえなおす。
定価三八〇円

目の見えぬ子ら

赤座憲久著

点字の作文をそだてる――点字教育を、自己の生活をみつめ、心情を豊かにし考えを深めていくためのものとした、現場の一教師の実践記録。
定価三八〇円

村で病気とたたかう

若月俊一著

若い著者が、戦前の学生運動の挫折の後、初心を忘れず農村に入り、今日七八〇のベッドをもつ民主的な病院を築くまでの記録である。
定価三八〇円

ある盲学校教師の三十年

鈴木栄助著

盲学校の教師や生徒の生活と学習の苦勞を語るとともに、三十余年におよぶ現場体験を経た貴重な教育実践上の工夫とその努力を語る。
定価三八〇円

岩波書店



東京・千代田・一ツ橋
振替〈東京〉6-26240〒101
小社の出版物は全て定価販売です

はばたく盲人・海外編

(この写真は、本文39ページをご参照下さい。)



写真1 盲人セクレタリー クリス・エミリィ

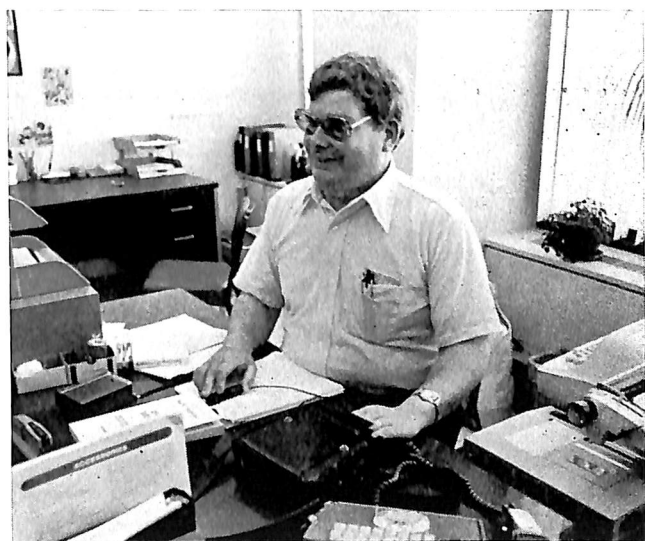


写真2 パシフィック電話公社人事部長 ケン・メッツ



写真3

ファイアマンズ・フэнд
保険会社コンピューター・
プログラマー ピート・デ
バスト



写真4

コミュニティ・カレジ教師
ジュディ・ウィルキンソン

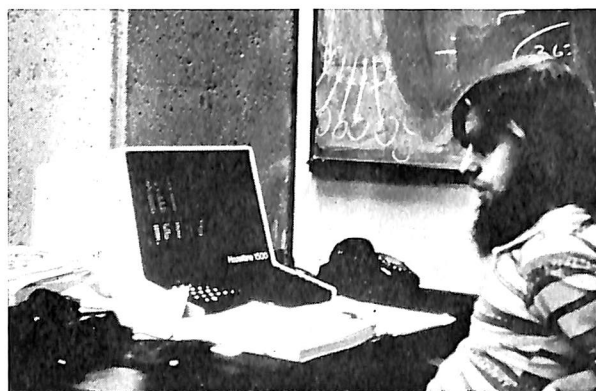


写真5

スタンフォード大学コンピ
ューター・エンジニア
グレッグ・ファウラー



写真6

バング・オブ・アメリカ
ワードプロセサー・オペレータ
パティ・ナッシュ



写真7 ウェールス・ファーゴ銀行ワードプロセサー・
オペレーター テリー・ディットモア

写真8

パークレイ市テレホン・
サービス・センター
ピート・ロメロ



写真9

テレセンサリィ・システム
ズ社回路設計エンジニア
ノエル・ランヤン

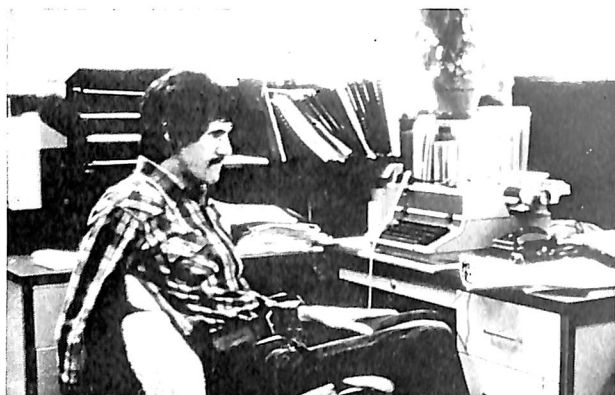


写真10

オプタコン・ティーチャー
ウィニフレッド・ダウニング夫人



目 次

1981年 3月 №52

2 ページ評論	小川 孟	2
特集 盲人の職業・海外編		
ヨーロッパにおける視覚障害学卒者の就職	小島 良平	5
英国における盲人雇用の実態		12
西ドイツの盲大学生と卒業後の就職の可能性		23
イタリアの普通学校における盲人教師		29
イスラエルの普通学校における二人の盲人教師		32
盲教師と社会集団としての学級		35
はばたく盲人・海外編	永田 三郎	39
この人 普通高校の全盲教師		
ヴィオレタ・ディフェリボさん		48
80年代の視覚障害児教育(2)		
理療科教育の現状と展望	直居 鉄	51
インフォメーション・コーナー		60
編集後記		64

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

国際障害者年も2か月余を経過した。マスコミが障害者に関する話題を報ずる回数も増し、社会の関心も一見高められつつある。さらに4月以降は、新年度予算のもとで、各種の関連行事が予定されている。

ところで、障害者年のテーマ「完全参加と平等」をはかるには、障害者の職業問題を避けて通ることはできない。本号では、海外の視覚障害者の職業事情を特集した。各方面のみなさまに、貴重な資料のご提供と翻訳をお願いした。主に欧州の事情を知ることができたが、英国をはじめ各国の職業選択の可能性は、国状の違いこそあれわが国に比してはるかに多様である。

西独における法律家、イタリアなどにおける普通校教師は、わが国でそれらを目指す人々にはうらやましい限りであろう。一方北米の事情は、「はばたく盲人」で、補助具の利用状況を通じてかいま見ることができた。かねて伝えられているように、多彩な職場が視覚障害者にも開かれている。

さて、わが国はどうであろうか。いまだ三療一辺倒の感はいなめない。しかもその三療も、近年正眼者の進出等による危機が叫ばれている。今回の「80年代の視覚障害児教育」では、豊富なデータから、三療業界の動向を具体的に把握することができた。

この1年が、たんなるお祭りさわぎに終わらずに、真の「完全参加と平等」達成のための意義ある第1歩となることを切望する次第である。

(N. H.)

視 覚 障 害 1981年3月 №52

年間購読料 2,500円(送料とも)

発行日 1981年3月1日

編集人(連絡先)

日本盲人福祉研究会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
日本点字図書館内 23番4号

電話(03)200-1130

振替口座 東京 6-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧8-21-3

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話(624)6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館